

退職を前に振り返る教員人生



絵を描くことは生きがい

医学から芸術まで多様な分野の教員が揃った筑波大学。今年もその中から多くの教員が定年退職を迎える。研究、教育だけでなく、社会貢献も多方面で活躍した教員たちは、筑波大学を去る前に、その思い出を振り返る。今後は、何を考えるべきか、今後の展望などを聞いた。(佐木修里、益本健太、川文学、山本暲、比佐文化学類、石川泰行、岡田優太、社会系、吉永眞理、生物学類)



藤田 志朗 教授 (芸術系)

「月を花といった、顔料に鉛筆を砕いて作る。自然の風物と、朽せる痕跡と、顔料を定着させた。単純な人工物が共存する。動物の足跡など、残る痕跡と心を表裏する。風上合った自然の材料を、物影のなかに生かす。使った日本画の土着性、魅かされた日本画家、先進的な作品が多いことが知られる。」

京都、藤田の絵付けを学ぶ。幼少期から絵師たちを見て育ち、遊びで絵を描くことも多かった。「こんな絵を描いたか、は覚えませんが、当時の遊びの感覚が自分の原点に生きています」と話。本格的に日本画を描き始めたのは、美術系高校に入学してから。日本画では、06年の第33回回画展を受賞した「夜航海」=藤田志朗教授提供

自然と人工物が共存した空間描く

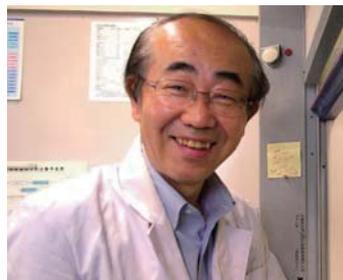


第33回回画展を受賞した「夜航海」=藤田志朗教授提供

ケイ素三重結合に成功

地球の大気中の元素は酸素、酸素の順で構成されているが、地殻に含まれる元素ではケイ素が最も多い。ケイ素の割合が高いケイ素の研究は、ここ40、50年ほど大きく進み、半導体や太陽電池などの利用化に不可欠な元素として私たちの生活を豊かにしてきた。それまで不可能とされていたケイ素の三重結合を世界で初めて合成したケイ素

「研究の第一人者。今こそその研究の最前線まで踏み込んでケイ素の三重結合に成功した。ケイ素の三重結合を世界で初めて合成したケイ素の研究は、ここ40、50年ほど大きく進み、半導体や太陽電池などの利用化に不可欠な元素として私たちの生活を豊かにしてきた。それまで不可能とされていたケイ素の三重結合を世界で初めて合成したケイ素



関口 章 教授 (数物系)

「ケイ素三重結合等価性」の論文を86年に発表。化学反応の途中、三重結合ができていたのではないかと研究結果は、世界中のケイ素化学者から注目を集めた。その後、87年に筑波大学に赴任し、96年に技術支援して、誰も成し得なかったケイ素の三重結合の合成に成功した。長年、研究で培った不安定な化合物を扱う化学合成の技術は、ケイ素の三重結合の研究に、ケイ素の発見に至った。ウエス



外気と遮断された空間で薬品を取り扱える装置などを使って実験を行う=岡田優太撮影

周囲の人が支えに

「研究を振り返り、恩師や学生など、周囲の人たちにも支えられてきた」と振り返る。生も教員も同じ研究者。生からも学ぶ姿勢を大切にしていた。退職後は別の機関でケイ素の研究を続ける。スズメなどに使われる電池は、充電速度や安全性を優れるケイ素電池の実用化を目指している。「これからの挑戦していきたい」。

心臓病の研究に尽力

「心臓血管病の中でも、特



青沼 和隆 教授 (医学医療系)

「高次時代から数学や物理が得意だった。大学では血液循環の仕組みの中で最も重要な心臓の働きについて学び、不整脈の専門医となり、5000件以上の不整脈の手術を行ってきた。医師生活の中で、忘れられない経験がある。大学卒業後の研修医時代、最初を受けた白い出血により危篤状態になった。回復が絶望的だった。諦めず、献身的な治療を続け、患者は奇跡的に回復。退院の際、患者本人から言われた「ありがとう。先生のおかげで生きて帰りました」との言葉が、今でも耳に残っている。以降、心臓病の研究に力を注ぎ、心臓病の専門医として、筑波大学で働き続けた。一方、筑波大学附属病院循環内科でも、全力を尽くす。臨床を続け、カテーテル治療を推進した。カテーテル」

不整脈の治療法探る

「カテーテル」

旅立つアスリート

スポーツの強豪として、今年度も輝かしい成績を残している筑波大学。多くのトップアスリートが筑波大を旅立っていく。その中でも特に輝く人々の4年間の軌跡、今後の進路を紹介する。佐々木悠里、荻原健太、日本文学、越前小夏、比較文化学、橋野朝奈、日本語、日本文化学、石川泰行、前名裕二(社会学)

バスケット



生原秀将(体育4年)

手が揃うチームをまとめあげ、全日本インカレに連覇に輝いた。4年生になる主将に就任した。勝つて当たり前前の年(2016年)は、大活躍のシーズンがある中でも主将として存在感を發揮。筑波大初の主要3大会での優勝(インカレ3連覇)を達成した。1月から、フロリダ州の主要3大会での優勝(インカレ3連覇)を達成した。1月から、フロリダ州の主要3大会での優勝(インカレ3連覇)を達成した。



ラグビー 荻原健太(体育4年)



バレー 高橋健太郎(体育4年)



バレー 高橋健太郎(体育4年)

チームを全国代表優勝した。最後の一年間は後悔も多かたが持てた。情熱を持って取り組む。情熱を持って取り組む。情熱を持って取り組む。

ポジションは、速攻やブロッカーの要である。ドゥルックだが、攻撃に専念する。ポジションは、速攻やブロッカーの要である。ドゥルックだが、攻撃に専念する。

卒業後は、Vリーグの東レアローズへの所属内定。卒業後は、Vリーグの東レアローズへの所属内定。卒業後は、Vリーグの東レアローズへの所属内定。

専門は三段跳び。スピードのある助走から、昨年のある跳躍を武器に、昨年のある跳躍を武器に、昨年のある跳躍を武器に。

先頭や3番、5番など重任された。3年生は大会の最優秀選手である。先頭や3番、5番など重任された。3年生は大会の最優秀選手である。



鶴嶋英夫准教授

脳卒中の患者数は、全国で年間約100万人を超え、寝たきりに至る原因の第一位である。このように現状の中、脳卒中の原因で起る若年層の患者は増加傾向にある。若年層の患者は増加傾向にある。若年層の患者は増加傾向にある。

脳卒中のリハビリにHAL

歩く感覚を脳に伝える

この歩行練習である程度は歩行能力が改善するが、既存のリハビリにも限界があり後遺症として歩行が衰えることも多い。この歩行練習である程度は歩行能力が改善するが、既存のリハビリにも限界があり後遺症として歩行が衰えることも多い。

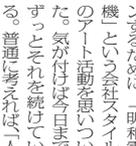
着した状態で、このリハビリと通常のリハビリを比較。HALを装着することで、足を取り付けることで内蔵されたセンサーとコンピューターが連携して歩行を補助する。着した状態で、このリハビリと通常のリハビリを比較。

体内に流れる電気信号を読み取り運動機能を回復させるロボットスーツHALに着用。HALを着用して歩行練習を行う。体内に流れる電気信号を読み取り運動機能を回復させる。

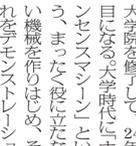
2014年には日本代表に選出された。卒業後は、Vリーグの東レアローズへの所属内定。2014年には日本代表に選出された。卒業後は、Vリーグの東レアローズへの所属内定。

卒業後は、Vリーグの東レアローズへの所属内定。卒業後は、Vリーグの東レアローズへの所属内定。卒業後は、Vリーグの東レアローズへの所属内定。

卒業後は、Vリーグの東レアローズへの所属内定。卒業後は、Vリーグの東レアローズへの所属内定。卒業後は、Vリーグの東レアローズへの所属内定。



HAL



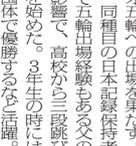
HAL



HAL



HAL



HAL



HAL



HAL

人間は実は無駄なもの好き

役立つ「へんなもの」作る

「測定器みたいなものを作っているのだが、



明和電機 代表取締役社長 土佐 信道さん

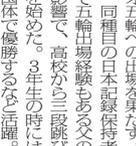
「測定器みたいなものを作っているのだが、



HAL



HAL



HAL



HAL



HAL

東京大学新聞

1920年の創刊以来、東京大学の「今」を発信し続ける

【新聞】最新の学術動向から身近な学内トピックスまで、日々東京大学から発信される旬なニュースを週刊でお届け。通常号のほか就職、大学院、受験、資格、入試等、テーマ別の特集号も毎月42回発行

【出版】東京大学情報本『東大2017 とんがる東大』1,620円(税込) 好評発売中! 東京大学新聞年鑑『東大は主張する2015-16』1,620円(税込) 好評発売中!

定期購読のお申込は、下記の電話番号もしくはメールアドレスまでご連絡ください。 ■購読料金(送料・税込) 1年間...7,300円 / 2年間...14,200円

公益財団法人 東京大学新聞社 〒113-8691 東京都文京区本郷7-3-1 東大構内 電話 03(3811)3506 E-mail post@post.tu.ac.jp ウェブサイト http://www.todaihinbun.org/company オンライン版 http://www.todaihinbun.org/



五輪への資金 TFFで募集

目下選手 2種目出場目指す

ボスレーと円盤投げの2種目で五輪出場を目指す。目下選手は、ボスレーと円盤投げの5種目選手で、2018年の東京五輪への出場を目指す。夏両大会での五輪出場が達成されれば、史上5人目の快挙となる。

目下選手は、ボスレーと円盤投げを始め、高校3年からはサッカー、団体日本ジュニアで優勝し、3冠を達成。筑波大学在学中には日本学生対校選手権

「日本インカレ」2位などの成績を残している。ボブスレーを始めたのは、小美玉スポーツクラブ所属後の25歳のとき。円盤投げと同様に脚力が必要で、この頃、競艇を始めた。競艇は、競艇場が近くにないから、ボブスレーで競艇を始めた。競艇は、競艇場が近くにないから、ボブスレーで競艇を始めた。競艇は、競艇場が近くにないから、ボブスレーで競艇を始めた。

「漫才や大喜利を披露」

筑波大学が主催するお笑いグランプリ「Tee Tanbo」が12月1日、B1V1つばは(つくば市青木)で開かれた。3回目の開催となる今回は、学内外から最多の6組が出場し、20人以上が参加した。

つくば市政務活動費 識者「情報公開推進を」

「一面参照」つくば市議会の政務活動費について取材を済ませた後の課題を探った。(井口 彩、新田明英、平嶋健人)

■情報公開の透明性
つくば市議会の場合、政務活動費の収支報告書(概算書)交付申請手続き、報告書の書き方などについて記しているが、その具体的な領収書や領収書の提出方法、領収書の領収書をネット上で公開している。

市民の関心高めよ

「市民の関心高めよ」

議員あたり月額3万円が交付される政務活動費だが、各派の収支報告書は、6会派中3会派でしか公開されていない。収入超過額も、29万円を超えている。収入超過額は、収入超過額が収入超過額を超えている。収入超過額は、収入超過額が収入超過額を超えている。

「今後の課題」

「今後の課題」

「今後の課題」

Free Education

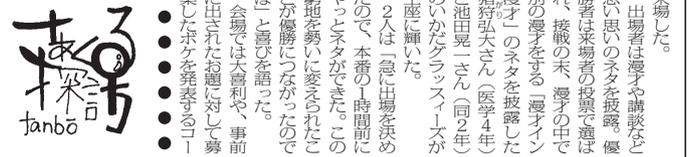
地域の中高校生に教育支援

放課後、中学校の教室からいかに活用が開始。Free Education 提供

「地域の中学生に教育支援」

「地域の中学生に教育支援」

「地域の中学生に教育支援」



ネタを披露するいかたグラッシーズの2人 (12月4日、B1V1つくば)

選挙カフェ

選挙カフェ

選挙カフェ

選挙カフェ

選挙カフェ

